# 熊野古道　ちかの“平安の郷”プロジェクト

## 現状と課題

◆世界遺産熊野古道と、日本の山里の原風景を有する風光の地でありながら、現状は、本宮地域等への通過点（H21宿泊客;近露・野中4,670人、本宮136,749人）
◆H22年3月ドライブイン「古道歩きの里ちかつゆ」がオープンし、熊野古道の観光拠点が開設
◆H23年5月阪和自動車道(海南IC~有田IC)の4車線化により京阪神からの観光客増が期待

■ **近露・野中地域を「平安の郷」と位置づけ、歴史的魅力や優れた景観、熊野詣での地理的位置を活かした誘客空間を創造するとともに、新たな観光商品をつくり、半日滞在型や1泊宿泊型の観光客の嵩上げを図る。**

**【事業主体】**
田辺市、ちかの「平安の郷」推進協議会
まるかじり体験実行委員会
古道歩きの里ちかつゆ
熊野ツーリズムビューロー
中辺路観光協会　　等

**【活用事業】**
田辺市事業
わがまち元気プロジェクト支援事業
観光施設整備補助事業

**【全体事業費】** 42,472千円
田辺市　18,800千円
県　　10,192千円
地元　　13,480千円

近露まるかじり体験

## 取組の3本柱（H23～H25）

### 〈1、「平安の郷」誘客空間の創造〉

**【田辺市、推進協、まるかじり委、古道歩きの里等】**
**39，044千円**

①空き家を活用した「平安の郷」誘客拠点の整備
（整備；田辺市、運営；推進協議会）
・古道歩きの憩いと安らぎ空間の提供
・「熊野歴史講座」開設による古の歴史体験
・よもぎ等の地元産品による軽食や茶菓の提供

②山里の風景や地域の素材を活かした魅力づくり
〈景観づくり〉
・山里を彩る桜等の植樹
・旧街道沿いでの灯籠や提灯、縁台の設置
・案内リーフレットの作成　　（二カ国語表記）
〈食・特産品づくり〉
・平安の食材（よもぎ等）を遊休農地で生産
・農産物等を活用した料理やスイーツ等特産品の開発と、民宿等での提供
〈にぎわいづくり〉
・民家の縁側や庭をつかった山里体験イベント‘近露まるかじり体験’の定期開催
・古道歩きの里を拠点とした誘客イベントの開催や、体験メニューの提供

③国道311号沿いの商業施設からの誘導
・新たな誘客拠点や近露王子、足湯等を巡る特典付きスタンプカード（平安の郷ぶらり散策帳）を、古道歩きの里や道の駅の買い物客に配布

### 〈2、「平安の郷」の観光商品づくり〉

**【推進協、ﾂｰﾘｽﾞﾑﾋﾞｭｰﾛｰ、古道歩きの里等】**
**2，428千円**

①新たな誘客拠点と、古道歩きの里・道の駅・とがの木茶屋等を熊野古道で繋げ、古の禊ぎ慣習を活かした「ちかの　古道ウオーク」の商品造成

②誘客拠点での「熊野日暮れ歴史語り」開催と、それを組み込んだ宿泊型の旅行商品づくり

③外国人ウオーカー受け入れ体制の整備
・住民向けのおもてなし研修
・宿泊や食事処の英字メニュー化
・ビューローとの連携による旅行商品の造成と予約

### 〈3、「平安の郷」の情報発信〉

**【観光協会、ﾂｰﾘｽﾞﾑﾋﾞｭｰﾛｰ、古道歩きの里】**
**1，000千円**

①「平安の郷」ホームページサイトの作成
（英字対応含む）

②ビューロー予約サイトコンテンツの充実
・サイト掲載事業者の増加や体験型メニューの掲載

③「古道歩きの里ちかつゆ」ホームページでのイベント情報やブログでの活動状況の発信

## 目　標

**熊野古道の歴史と、中継地としての利点を活かした観光地づくりによる地域産業の創出へ**

| | H21 | | H26 |
|---|---|---|---|
| 日帰り観光客数 | 11万人 | ⇒ | 30万人 |
| 宿泊客数 | 4,670人 | | 7,500人 |
| うち外国人 | 46人 | | 750人 |

空き家を活用した拠点整備